中小企業の業況等に関するアンケート調査結果の概要 (26年8月調査)

○ 平成26年8月中に全国の財務局等において各都道府県の商工会議所47先を対象に実施。

中小企業の業況

- 中小企業の業況は引き続き厳しい状況にあり、現状D. I. は前回調査に比べ4ポイント低下している。 なお、先行きD. I. は、前回調査に比べ4ポイント改善している。
- 悪いと判断した場合の要因としては、「売上げの低迷」の割合が最も大きく、次いで「仕入れ原価の上昇、販売価格への転嫁の遅れ」の割合が大きい。

	D. I. (良い一悪い)		悪いと判断した場合の要因(回答割合) (単位				
区分	現状	先行き	① 原油・原材料価格 等、仕入原価の上 昇、及び販売先との 関係による販売価 格への転嫁の遅れ	② 需要の低迷による 売上げの低迷	③ 競争過多による販 売価格の下落	④ 株式・為替市場はじ めグローバルな市 場変動の影響	⑤ 東日本大震災や福 島原子力発電所事 故等の影響によるも の(①~④に該当し ないもの) 例:風評による売り 上げの低迷等
製造業	▲11 (▲13)	▲15 (▲19)	58. 1 (37. 8)	32. 3 (31. 0)	3. 2 (10. 8)	0.0 (2.7)	6. 5 (2. 7)
小売業	▲ 60 (▲ 55)	▲ 38 (▲ 47)	25. 9 (23. 1)	54. 1 (56. 4)	16. 5 (15. 4)	2. 4 (2. 6)	1. 2 (2. 6)
卸売業	▲49 (▲34)	▲34 (▲43)	20. 9 (23. 9)	58. 2 (56. 7)	14. 9 (13. 4)	3. 0 (3. 0)	3. 0 (3. 0)
建設業	15 (13)	0 (▲ 4)	37. 5 (37. 0)	50. 0 (33. 3)	12. 5 (29. 6)	0. 0 (0. 0)	0. 0 (0. 0)
サービス業	▲ 30 (▲ 23)	▲15 (▲19)	23. 8 (8. 3)	57. 1 (72. 2)	19. 0 (16. 7)	0. 0 (0. 0)	0.0 (2.8)
不動産業	▲13 (▲11)	▲11 (▲11)	23. 5 (15. 8)	64. 7 (68. 4)	11.8 (15.8)	0. 0 (0. 0)	0. 0 (0. 0)
運輸業	▲ 36 (▲ 30)	▲ 38 (▲ 36)	59. 6 (49. 1)	22. 8 (30. 9)	14. 0 (16. 4)	3. 5 (3. 6)	0. 0 (0. 0)
平均	▲ 26 (▲ 22)	▲22 (▲26)	34. 3 (28. 5)	47. 9 (51. 4)	14. 3 (16. 0)	1. 9 (2. 2)	1. 6 (1. 9)

- (注1) D. I. = 「良い」と回答した先数構成比 「悪い」と回答した先数構成比
- (注2) 悪いと判断した場合の要因については、複数回答可としており、複数の回答の総計を分母とする割合として示している。
- (注3) 表中の括弧書は26年5月時点の調査結果

中小企業の資金繰り

- 中小企業の資金繰りは引き続き厳しい状況にあり、現状D. I. は前回調査に比べ5ポイント低下している。
- 悪いと判断した場合の要因のほとんどが、「販売不振・在庫の長期化等、中小企業の営業要因」となっている。

	D. I. (良い一悪い)		悪いと判断した場合の要因(回答割合)				(単位:%)
区分	現状	先行き	① 販売不振・在庫の 長期化等、中小企 業の営業要因	② 金融機関の融資態 度や融資条件等	③ 改正貸金業法施行 の影響等、ノンバン クの融資態度・動向	④ セーフティネット貸付・保証等、信用保証協会や政府系金融機関等の対応	⑤ 東日本大震災や福 島原子力発電所事 故等の影響によるも の(①~④に該当し ないもの) 例:風評による業績 の長期低迷等
製造業	▲ 9 (▲ 11)	▲15 (▲19)	100. 0 (100. 0)	0.0 (0.0)	0. 0 (0. 0)	0. 0 (0. 0)	0. 0 (0. 0)
小売業	▲ 43 (▲ 34)	▲ 43 (▲ 34)	95. 1 (100. 0)	4. 9 (0. 0)	0. 0 (0. 0)	0. 0 (0. 0)	0. 0 (0. 0)
卸売業	▲ 26 (▲ 17)	▲ 21 (▲ 21)	96. 3 (100. 0)	3. 7 (0. 0)	0. 0 (0. 0)	0. 0 (0. 0)	0. 0 (0. 0)
建設業	2 (4)	▲11 (▲13)	100.0 (100.0)	0.0 (0.0)	0. 0 (0. 0)	0.0 (0.0)	0. 0 (0. 0)
サービス業	▲17 (▲19)	▲ 9 (▲ 19)	100. 0 (100. 0)	0. 0 (0. 0)	0. 0 (0. 0)	0. 0 (0. 0)	0. 0 (0. 0)
不動産業	▲ 9 (▲ 7)	▲11 (▲13)	100. 0 (100. 0)	0.0 (0.0)	0. 0 (0. 0)	0. 0 (0. 0)	0. 0 (0. 0)
運輸業	▲ 36 (▲ 19)	▲ 36 (▲ 32)	100. 0 (100. 0)	0. 0 (0. 0)	0. 0 (0. 0)	0. 0 (0. 0)	0. 0 (0. 0)
平均	▲ 20 (▲ 15)	▲21 (▲22)	98. 1 (100. 0)	1.9 (0.0)	0. 0 (0. 0)	0. 0 (0. 0)	0. 0 (0. 0)

(注1) D. I. = 「良い」と回答した先数構成比 - 「悪い」と回答した先数構成比

(注2)悪いと判断した場合の要因については、複数回答可としており、複数の回答の総計を分母とする割合として示している。

(注3) 表中の括弧書は26年5月時点の調査結果